

だが、今から考えると、十六から十八までの一ぱん感覚の新鮮な時代、暇を見つけては雑誌読したことが、今日ではかなり役に立っているように思う。

どんなにリアリズムであろうとも、その奥に詩情がなければいかんと思う。そこに小説の奥深さという心が揺すられるものがあるんです。

人生には卒業学校名の記入欄はないのである。

美しい文章より  
真実の文字を

私は独り旅が好きである。

(中略)一切の煩わしきから離れて、遠い土地をさ迷うことによつて、自己を凝視し、観照できる。

# 松本清張と 井上靖

作家と  
目標の星

光陰は矢のようだ。しかし、人生の山  
河はいかに荒寥たるものであろうと、充  
分走り切るに価値があるものだと思  
ひ、力をこめて、バトンを渡したいと思  
うのである。

読書の楽しさを知ること、  
知らないことでは、人間の一生がま  
るで違ったものになる。お花畑を  
歩くのと、沙漠の中を歩くぐらい  
の差異はある。

幸福は求めない方がいい  
求めない眼に、求めない心に、  
求めない体に、求めない日々は、  
人間の幸福はあるようだ。

私は旅の話が一番好きだ。

正確なもの美しく見える。  
だけが美しく見える。

(中略)紀行文とか、旅行記をかいた  
ものを読む楽しさは、実に特別なも  
のであり、そうした書物の頁をあけて  
いる時がある意味で、人間の持ち得  
る一番贅沢な時間だろうと思う。



Letters

名作の人生のレガシーに。

初公開!!

井上靖宛 松本清張書簡



昭和31年 松本清張宛松本清張書簡

昭和31年 井上靖宛松本清張書簡

令和6年

10月5日(土) - 12月1日(日)

会場 | 松本清張記念館 企画展示室

主催 | 北九州市立松本清張記念館 特別協力 | 長宗町井上靖文学館(福岡県)

【開館時間】午前9時30分～午後6時(入館は午後5時30分まで)

【入場料】常設展示観覧料に含む 一般 600円(800円) 中・高校生 360円(200円)

小学生 240円(300円) ( )内は30名以上の団体料金

【休館日】毎週月曜日(月曜日が休日の場合は翌日)・館内緊要日(10月31日、11月28日)

〒803-0813 北九州市小倉北区城内2-3 TEL.093-582-2761 FAX.093-562-2303

松本清張ゆかりの品をお持ちの方は、記念館までお知らせください。

北九州市  
松本清張記念館

<https://www.seicho-mm.jp>





